

血液浄化に関する最新情報紙

B.P. up-to-date

Blood Purification

No.119

隔月発行

2021年3月

●提供 扶桑薬品工業株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-10

●編集・発行 株式会社ジェフコーポレーション 〒105-0004 東京都港区新橋5-20-3新橋STビル4F ■TEL:03-3578-0303 ■FAX:03-3578-0304 ■E-mail:info@jeff.co.jp

THE 47TH ANNUAL MEETING OF JAPANESE SOCIETY FOR TECHNOLOGY OF BLOOD PURIFICATION

学会案内

第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会

「新時代の探究～The way for advance～」をテーマに開催

2021年4月16日(金)～18日(日)、第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会がWEB開催される。

大会長は、医療法人中央内科クリニック 宮本照彦先生。大会テーマは「新時代の探究～The way for advance～」。

今大会は新型コロナウイルス感染対応のために、昨年4月から1年開催が延期されていた。

依然感染状況が収束しない状況に鑑み、今大会は完全WEB開催となった。大会の概要について宮本大会長に伺った。

Interview

宮本照彦先生

TERUHIKO MIYAMOTO

第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会
大会長
医療法人中央内科クリニック

2020年4月に開催予定であった第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会(第47回大会)は、新型コロナウイルス感染症パンデミックのために、一年延期して完全WEBで開催いたします。中止という選択肢もあったなかで、学術大会の2020年開催をスキップする形で、予定されていた第47回大会以降の学術大会においても繰り返し開催することに、ご理解を賜りました関係各位の皆さまには、衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年11月末までに第47回大会は、完全WEBで開催することを決定致しました。会期5か月前という早い時期の決定には、ご参加いただく先生方の講演準備やご協力いただく協賛社の準備に配慮することが重要と考えていたところに、11月中旬から感染者数が急拡大したことが判断に大きく影響することになりました。コロナ禍での学会開催は、新たな形態を模索しながら、WEBを併用するハイブリット開催やWEB開催であっても発表方法の選択は様々で

あり、主催団体の特徴が表れているように思います。

第47回大会では、WEB開催であっても、学会のあるべき姿を見失うことのない方法での運営が極めて重要と考え、双方向対話ができるZoomミーティングを用いてライブ配信いたします。良い意味での緊張感を保ちつつ、演者が口述する臨場感を感じられる学術大会にしたいと考えています。

また、ライブ開催後には、プログラムごとに収録した講演動画をオンデマンド配信します。時間を問わず、繰り返しご視聴いただけますので、聞きたいときに、聞きたい講演を、時には一時停止したりしながら視聴可能です。

さて、一般社団法人日本血液浄化技術学会は、血液浄化技術に関する教育、研究および関連領域に於ける工学、医学、医療の進歩向上に貢献することを目的とした学術団体として平成元年に設立されました。1年の延期となりましたが、第47回大会は時代が平成から令和になって迎える初めての学術大会であることは変わりなく、大会テーマも変更することなく「新時代の探究～The way for advance～」とさせていただきます。これには、令和という時代に学術団体として、本学会が進むべき道、進化への方法はどうあるべきかを考える機会にしたいとの思いが込められています。

学会の国際化を加速

中でも我々が新たに歩むべき道の一つとして注目しているのが本学会活動の国際化です。近年、中国を筆頭にアジア諸国では経済発展にともない、透析患者数の増加が顕著になっています。それらの国では、血液浄化療法をリードする国々から、その技術や管理手法を取り入れようとしています。そうした中、血液浄化領域のCool Japanを世界に発信することは、本学会の重要課題であり、責務であると考えています。

技術支援活動から国際展開活動へ

本学会においては、数年前から国際委員会が設置され、特に東南アジアの途上国に対する透析医療の技術支援活動を行ってきました。今後もその活動は継続してまいります。海外での支援活動の際は、当然ながら英語でのプレゼンテーションは不可欠であり、我々も外国語等の勉強が必要です。本活動を通して、我々も逆に勉強させてもらっていることにも気づかされるので、そうした点にも考慮し、今後は「技術支援活動」から「国際展開活動」という呼称に変えていこうと学会内で意思統一を図っているところです。一方で、前述のようにこれまで学会の大きな役割として血液浄化技術の普及や進歩に貢献することを目指して活動してきましたので、今大会では、そうした活動もさらに発展させること、そして学会の国際化についてあらためて考える機会にしたいと考えています。

国際化関連のセッション

今大会のプログラム作りにあたって、まず、本学会をどのように進化させていくか、参加される方々にも考えていただくことを意識したテーマを考え、セッションを企画していくようにしました。

大会長特別企画では、「学会の国際化推進を考える!」を行います。併せて学会の国際委員会が会員の国際化の推進を意図した企画である「会員の

第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会

THE 47TH ANNUAL MEETING OF JAPANESE SOCIETY FOR TECHNOLOGY OF BLOOD PURIFICATION

●テーマ 新時代の探究 ～The way for advance～

●会期 ライブ配信: 2021年4月16日(金)～18日(日)
16日(金)は各委員会・総会・理事会の開催です。

オンデマンド配信: 5月10日(月)～21日(金)

●会場 WEB会場(Zoom)

●大会長 宮本照彦(医療法人中央内科クリニック)

●実行委員長 松田政二(特定医療法人あかね会 中島土谷クリニック)

●大会事務局 医療法人中央内科クリニック内
事務局長 伊豆元 勇樹
〒737-0142 広島県呉市広駅前1丁目4-58
E-mail: chuounaika3@cap.ocn.ne.jp

国際化を目指す国際委員会の取り組み」と題したセッションを設けています。

さらに、本学会では、「日本血液浄化技術学会の国際化についての提言」をまとめ、今後5年ほどで学術大会の英語口述発表の割合が30%になることを目指しています。また、国際学会発表支援プログラムを設け、例えば英語抄録の書き方の指導や、EDTA（欧州透析移植学会議）への参加・登録の推進等を試みています。その活動の一環として今大会は、学会員が海外を意識した学術活動へのきっかけとなる大会にしたいということで、英語発表を行うよう促した結果、英語演題は22演題に上りました（前回は18演題）。

また、今大会から、演題登録の際に演者名・所属・演題名の英語併記を必須とさせていただいたことで、抄録集の製作にあたる我々にとっては、苦労もありながら実り多い経験となりました。応募のハードルとしては若干高くなった感があり、学会長としては、応募演題数が気になりましたが、おかげさまで、170演題ほどのご応募をいただきました（1年延期などにより150題に変更）。皆さんのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

日本血液浄化技術学会 －台湾透析技術学会 合同企画

さらに、国際セッションとして、日本血液浄化技術学会－台湾透析技術学会 合同企画、「日本と台湾の血液浄化技術の未来に向けて / Towards future collaboration in blood purification technology between Japan and Taiwan」を予定しています。

様々な話題を網羅

その他、大会長招聘講演2題、特別講演2題、特別企画1題、教育講演2題、シンポジウム3題、パネルディスカッション2題、ワークショップ4題、学会の各委員会企画、企業コラボセッション、バーシックスミナー9題などを予定しています。血液浄化技術はもとより、バスキュラーアクセスや栄養、運動療法に関する話題、チーム医療、多職種協働、サイバーセキュリティ、リビング・ウイルの問題など、血液浄化療法に関連する様々なテーマを取り上げています。

例えば、シンポジウムの一つとして、日本腎不全看護学会とのジョイントセッション「透析の見合わせに係る問題への対応を考える」を行います。本学会は技術の進歩を主眼とした学会ではありますが、透析患者さんの治療に関わる限りは、透析の見合わせといった倫理的な問題も理解しておく必要があります。

日本透析医学会等がどのような提言を行っているかなど、学会員が正しい情報を得る良い機会にしたいと考えております。

また、パネルディスカッションの一つとして「腎代替療法の選択肢とShared Decision Making」を企画しました。Shared Decision Makingとは、医療者と患者さんがエビデンスを共有して一緒に治療方針を決定すること（「共同意思決定」）を言います。最近、患者さんが腎代替療法を選択するに当たって、患者さんや家族と医療者側が一緒に考えながら選択をしていくことが推進されています。腹膜透析、血液透析、腎移植などを選択する中で圧倒的に血液透析が多いわけですが、血液透析を行うにしても長時間透析や、on-line HDF、在宅透析などそれぞれの治療法の特徴、利点・欠点といったことを踏まえて、どういった治療を患者さんに、どのように選択してもらうか、また我々が患者さんの意思決定をどうサポートすべきか、有益な情報提供ができればと思っています。

酒造りと人材育成をテーマにした 大会長招聘講演

ユニークな講演として、大会長招聘講演をご紹介しますと、まず一つは、「広島酒造り」をテーマに、賀茂鶴酒造株式会社製造本部の山岡 洋氏にご講演をお願いしています。広島県東広島市（西条地区）は京都の伏見、兵庫の灘と並ぶ知る人ぞ知る日本三大酒処であり、賀茂鶴酒造は本地区を代表する酒造メーカーです。今日本酒は国をあげて積極的に国際展開を行っています。本学会の国際展開への取り組みにも相通じるところがあると存じます。また、本地区は、軟水地域で酒造りにはあまり適さないとされていましたが、明治時代に軟水醸造法と呼ばれる酒造技術が開発され、今の隆盛に繋がっています。透析液の作製のうえでも軟水は不可欠ですから、酒造りを支える水についても興味深いお話が聞けるのではないかと思います。

もう一つは、「自ら積極的に行動する力を育むボトムアップ理論」をテーマに株式会社 You Home 人材育成、組織構築部 代表、一般社団法人ボトムアップパーソンズ協会 代表理事 畑 喜美夫氏にご講演をいただきます。畑氏は、元サッカー日本代表選手であり、広島県の広島観音高校サッカー部監督としてインターハイ優勝を成し遂げられました。現在は一般社団法人ボトムアップパーソンズ協会の代表理事などを務め、人材育成の事業でご活躍されています。企業対象の講演も数多くこなされています。我々の課題の一つでもある血液浄化技術分野の人材育成のためにも参考になるお話を興味深いエピソードも

交えて伺えるものと期待しています。

新型コロナウイルス感染症に関する 特別企画

1年延期した今回、新たに特別企画を設けました。「透析と新型コロナ感染症の実情」をテーマに日本透析医学会感染調査小委員会委員長の竜崎崇和先生（東京都済生会中央病院 腎臓内科）に透析患者さんの新型コロナウイルス感染状況や今後の対応等についてご講演いただくことにいたしました。

以上のように血液浄化技術に関する最新の話題提供はもちろんのこと、国際化の推進を意識してもらえるようになり、それ以外の企画も充実させ、現場で役に立つようなテーマ、内容作りに努めました。今大会で我々が血液浄化療法の分野で知っておくべき事柄を十分に勉強していただき、それを実際に臨床現場で役立てていただけるような会になるよう準備していますので、熱いご討議が繰り広げられることを期待する次第です。

今回は、大会の合間に安芸の宮島や前述した東広島酒の酒処など魅力的な地を巡っていただくことは叶いませんが、様々なところから繋がりを持てるというWEBならではのメリットがあると思いますし、前述のように当日のライブ配信の参加だけではなく、終了後にオンデマンドでの配信も予定していますので、そういう意味では、ライブの臨場感を味わった後にあらためて、そのセッションをオンデマンドで視聴していただけるというメリットもあります。ぜひ多くの皆さまに今大会を満喫していただければと思っています。

大会ホームページ、Facebook、Instagramも駆使して最新情報をお届け

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況がいまだ予断を許さない状況に鑑み、大会開催までできる限り最新情報を適宜お届けするべく、大会のFacebookとInstagramも開設しています。大会ホームページとあわせて皆様のご利用をお願い申し上げます。

第47回日本血液浄化技術学会学術大会・総会
扶桑薬品工業株式会社共催
企業共催セミナーL4のご案内

「透析アミロイド症の予防とその対策」

●司会：正木崇生先生(広島大学病院 腎臓内科)

●演者：倉賀野 隆裕先生(兵庫医科大学 腎・透析内科)

●日時：2021年4月17日(土) 12:00～13:00

●会場：WEB配信(第5会場)

●大会長招聘講演1 4月17日(土) 12:00～13:00(第1会場) 司会：宮本照彦(医療法人中央内科クリニック) IL-1「広島酒造り」 山岡 洋(賀茂鶴酒造株式会社) ●大会長招聘講演2 4月18日(日) 10:00～11:00(第4会場) 司会：宮本照彦(医療法人中央内科クリニック) IL-2「自ら積極的に行動する力を育むボトムアップ理論」 畑 喜美夫(一般社団法人ボトムアップパーソンズ協会 代表理事) ●特別講演1 4月17日(土) 10:30～11:30(第1会場) 司会：真下 泰(JCHO札幌北辰病院) SL-1「生体内輸送現象論から見える血液浄化法」 山下明泰(法政大学生命科学部 環境応用化学科)	●特別講演2 4月18日(日) 10:00～11:00(第2会場) 司会：山家敏彦(神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科) SL-2「血液浄化療法が目指すべき未来～技術の探求と進化～」 川西秀樹(土谷総合病院) ●特別企画 4月18日(日) 11:00～12:00(第3会場) 司会：小保利幸(JA神奈川県厚生連 相模原協同病院 臨床工学科) SP「透析と新型コロナ感染症の実情」 竜崎崇和(東京都済生会中央病院 腎臓内科) ●教育講演1 4月17日(土) 13:40～14:40(第1会場) 司会：村上 淳(東京女子医科大学 臨床工学科 血液浄化療法科)	EL-1「透析に関わる医療経済と診療報酬」 山川智之(特定医療法人仁真会 白鷺病院) ●教育講演2 4月18日(日) 11:00～12:00(第1会場) 司会：山下芳久(埼玉医科大学 保健医療学部 臨床工学科) EL-2「透析効率の適正評価法を考える」 村上 淳(東京女子医科大学 臨床工学科) ●大会長特別企画：PSL 4月17日(土) 13:40～15:10(第3会場) 「学会の国際化を考える」 司会：安藤勝信((公社)地域医療振興協会 練馬光が丘 病院 臨床工学科) 小久保謙一(北里大学 医療衛生学部) PSL-1「国際活動ならびに学会に参加した経験から気づく国際化の必要性」 吉岡 淳(群馬バース大学 保健科学部 臨床工学科)	PSL-2「何故?!いまさら国際学会発表?」 大塚勝二(熊本大学病院 医療技術部 ME機器技術部門) PSL-3「血液浄化技術の国際展開活動から得られるもの」 長沼俊秀(大阪市立大学大学院 医学研究科 泌尿器病態学) PSL-4「学会の国際化推進への提言」 山家敏彦(神奈川工科大学 工学部臨床工学科 健康医療科学部) ●シンポジウム1：SY1 4月17日(土) 15:30～17:30(第1会場) VA関連手術・治療における医療スタッフの役割 -医療スタッフの業務拡大を目指して- 司会：人見泰正(特定医療法人 桃仁会病院) 小川智也(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科) SY1-1「VAIT分野における医療スタッフの役割」 廣谷紗千子(医療法人社団 蒼紫会 森下記念病院) SY1-2「ダブルライセンスにおけるVAIT関連業務」 原 正彦(南千住病院 VAセンター)
--	--	---	---

SY1-3「VAIVTIに臨床工学技士が関わることで得られる効果」
岩下廉史(医療法人心信会 池田バスキュラーアクセス・透析・内科)
SY1-4「当院でのバスキュラーアクセス(VA)関連手術における臨床工学技士の関わりについて」
千葉康雄(医療法人社団嬉泉会 嬉泉病院 臨床工学科)
SY1-5「VAスペシャリストの役割」
渡邊弘一(医療法人 立川メディカルセンター 立川総合病院 腎センター)

●シンポジウム2：SY2

4月17日(土)9:00～11:00(第2会場)
Inter-Professional Work
～透析患者への多角的アプローチ～
司会：川岡孝一郎(国家公務員共済組合連合会 呉共済病院)
坂上貴光(地方独立行政法人 大牟田市立病院)

SY2-1「Inter-Professional Workにおける慢性腎不全患者システムの役割」
西澤欣子(一陽会原田病院 腎臓内科)
SY2-2「透析治療における臨床工学技士が担う役割」
安部貴之(東京女子医科大学 臨床工学科)
SY2-3「理学療法士が考える透析医療へのアプローチ」
矢部広樹(聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 理学療法学科)
SY2-4「管理栄養士が考える透析患者への治療アプローチ」
北島幸枝(東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科)
SY2-5「透析患者へのケアアプローチ ～看護師の役割～」
高柳麻紀(広島大学病院 看護部)

●シンポジウム3：SY3

4月18日(日)8:30～10:30(第5会場)
日本腎不全看護学会ジョイントセッション
透析の見合わせに係る問題への対応を考える
司会：未定(未定)
長尾尋智(知邑舎 メディカルサテライト岩倉)

SY3-1「透析見合わせ・中断に関して：日本透析医学会拡大倫理委員会を通じて」
倉賀野隆裕(兵庫医科大学)
SY3-2「透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」について」
岡田一義(社会医療法人川島会 川島病院)
SY3-3「超高齢者の血液透析」
船越 哲(長崎腎病院)
SY3-4「透析見合わせを考える患者へのアドバンス・ケア・プランニングと家族への支援」
阿部利恵(NPO法人 日本看護キャリア開発センター)

●日本血液浄化技術学会・台湾透析技術学会 合同企画JS
4月17日(土)10:00～11:30(第5会場)
日本と台湾の血液浄化技術の未来に向けて
Towards future collaboration in blood purification technology between Japan and Taiwan
司会：俞 静儀(台湾透析技術学会 理事長)
陳 莉薇(医新クリニック 人工透析内科)

JS-1「Activities and goals of Taiwan Society of Dialysis Technology」
趙 美貞(Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital)
JS-2「Activities of Japanese Society for Technology of Blood Purification」
山家敏彦(Kanagawa Institute of Technology/Japanese Society for Technology of Blood purification)
JS-3「COVID-19 in Dialysis Centres: Current Strategy in Taiwan and Recommendations for Prevention the pandemic」
傅 崇銘(Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital/Chang Gung University College of Medicine, Kaohsiung, Taiwan)
JS-4「Current topics and future challenges in the technologies for blood purification in Japan」
小久保謙一(Kitasato University School of Allied Health Sciences, Committee on International Affairs / Japanese Society for Technology of Blood purification)

●パネルディスカッション1：PD1

4月17日(土)10:30～12:00(第4会場)
急性血液浄化：各施設におけるヘモフィルターの使い分け
司会：廣橋仲之(広島大学病院 広島大学原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療開発研究分野)
峰松佑輔(大阪大学医学部附属病院 臨床工学科(医療技術部臨床工学部門))
PD1-1「CRRTにおけるPS系膜hemofilterの役割はどこにあるか？」

塚本 功(埼玉医科大学国際医療センター MEサービス部)
PD1-2「UTフィルター (CTA膜)の臨床使用例」
相馬 泉(東京女子医科大学 臨床工学科)
PD1-3「当院の敗血症性AKI患者におけるヘモフィルターの使い分け」
山香 修(久留米大学病院 臨床工学センター)
PD1-4「敗血症性ショック症例に対するAN69ST-CHDFの有用性に関する検討」
道越淳一(小倉記念病院 検査技師部 工学課)

●パネルディスカッション2：PD2

4月18日(日)14:00～16:00(第3会場)
腎代替療法の選択肢とShared Decision Making
司会：川合 徹(医療法人中央内科クリニック)
宮川浩之(日本赤十字社医療センター 医療技術部 臨床工学技術課)

PD2-1「腎代替療法選択の支援における看護者の役割～人権尊重とShared Decision Making」
内田明子(聖隷横浜病院)
PD2-2「Shared Decision Makingと腹膜透析」
高橋俊介(国立病院機構 呉医療センター 腎臓内科)
PD2-3「SDM実践のために知っておきたい腎移植の現状」
井手健太郎(広島大学病院 消化器外科 移植外科)
PD2-4「長時間透析、頻回透析の選択と適応について再考する」
前田兼徳(医療法人社団 兼愛会 前田医院)
PD2-5「在宅透析の選択と適応について再考する」
森實篤司(新生会第一病院)
PD2-6「オンラインHDFの選択と適応について再考する」
道脇宏行(社会医療法人川島会 川島病院)

●ワークショップ1：WS1

4月17日(土)13:30～15:00(第2会場)
多職種が取り組む透析運動療法～現状と今後の展望～
司会：鈴木一裕(医療法人援腎会)
柴田昌典(医療法人光寿会 光寿会リハビリテーション病院)

WS1-1「理学療法士による透析運動療法の関わり」
山口智也(社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院 リハビリテーション室)
WS1-2「臨床工学技士による透析運動療法の関わり」
佐野可奈(社会医療法人天神会 野伏間クリニック 臨床工学科)
WS1-3「健康運動指導士による透析運動療法の関わり」
森山善文(医療法人偕行会 名古屋立病医院)
WS1-4「透析運動療法における薬剤師のかかわり」
佐藤みのり(創和会 重井医学研究所附属病院 薬剤部)
WS1-5「透析導入時の運動療法の取り組み～在宅療養へのスムーズな移行にむけて」
黒田沙織(社会福祉法人恩賜財団静岡済生会総合病院 透析室)

●ワークショップ2：WS2

4月18日(日)8:30～10:00(第1会場)
バスキュラーアクセスにおける手技と管理の標準化
司会：川原田貴士(池田バスキュラーアクセス透析・内科)
松田政二(中島土谷クリニック)

WS2-1「臨床工学技士によるVA術前・術後管理の有用性とその展望」
北村健太郎(JA長野厚生連 南長野医療センター 篠ノ井総合病院 臨床工学科)
WS2-2「VA機能評価におけるエコー手技の標準化に向けた取り組み」
花澤麻美(医療法人 立川メディカルセンター 立川総合病院 腎センター)
WS2-3「バスキュラーアクセスによる末梢循環への影響を考える～各種検査装置を用いた評価法の検討～」
川上崇志(新都市医療研究会「君津」会 玄々堂君津病院 臨床工学科)
WS2-4「エコー下穿刺技術の標準化」
人見泰正(桃仁会病院 臨床工学科)

●ワークショップ3：WS3

4月18日(日)14:20～15:50(第1会場)
オンラインHDF, IHDFの条件設定を考察する
司会：植村友隆(倉敷芸術科学大学 生命科学科)
菅沼信也(腎内科クリニック世田谷)

WS3-1「最適な透析液組成を考察する」
常喜信彦(東邦大学医療センター大橋病院 腎臓内科)
WS3-2「HDFに最適な補液量、補液方法を考察する」
大澤貞利(釧路泌尿器科クリニック)
WS3-3「I-HDFの補充設定を考察する」
江口 圭(東北医科薬科大学病院 臨床工学科)

●ワークショップ4：WS4

4月18日(日)14:30～16:00(第5会場)
各治療法におけるアフレシスの役割と施行条件
司会：花房規男(東京女子医科大学病院 腎臓病総合医療センター 血液浄化療法科)
岩本ひとみ(社会医療法人 天神会法人本部 人事総務部)

WS4-1「新鮮凍結血漿とアルブミン溶液を併用した単純血漿交換療法について」
鶴田友加里(神戸大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学部門)
WS4-2「選択的血漿交換法の適応と臨床例」
大久保淳(東京医科歯科大学医学部附属病院 MEセンター)
WS4-3「CARTの基本的理解が臨床に役立つ! ～安全で効果的な患者ファーストのCARTを目指して～」
松崎圭祐(要町病院 腹水治療センター)
WS4-4「LDL吸着療法」
時任義臣(社会医療法人天神会 新古賀クリニック 臨床工学科)

●IT委員会企画：ITP

4月17日(土)9:00～10:00(第1会場)
サイバーセキュリティ×ビッグデータ×AI
～未来を見据える～
司会：大水 剛(あけぼのクリニック)
守田憲崇(北里大学 医療衛生学部)

ITP-1「臨床工学技士のサイバーセキュリティ対策」
川崎路浩(神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科)
ITP-2「在宅医療におけるサイバーセキュリティの考え方」
石田幸広(医療法人なごみ会 大正くすのきクリニック)
ITP-3「システムのライフサイクルから考えるセキュリティ」
内山 巧(国立大学法人信州大学)
ITP-4「院内に接続されたICT機器の全数把握の重要性」
金井孝三(Sky株式会社)
ITP-5「臨床工学技士と病院情報との関わり」
肥田泰幸(長門総合病院)

●医療安全委員会企画：MSP

4月17日(土)14:00～15:00(第5会場)
医療安全対策の各方面の取組
司会：小野信行(社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院)
芝田正道(東京女子医科大学東医療センター 臨床工学科)

MSP-1「チーム医療と医療安全」
金子恵美子(東京女子医科大学東医療センター 医療安全対策部)
MSP-2「医療安全：いま考えておきたいこと、準備しておきたいこと」
鮎澤純子(九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座 准教授)

●国際委員会企画：ICP

4月17日(土)16:00～17:30(第3会場)
会員の国際化を目指す国際委員会の取り組み
司会：山本裕子(東京医科歯科大学医学部附属病院 MEセンター)
宮本照彦(中央内科クリニック)

ICP-1「ミャンマーでの国際活動から感じた透析医療の現状と今後の課題」
黒田沙織(社会福祉法人恩賜財団静岡済生会総合病院)
ICP-2「ボランティア参加で海外活動を経験して」
佐藤幸博(IMSグループ 板橋中央総合病院)
ICP-3「発展途上国における透析技術の向上を目指した活動はスキルアップに有効か？」
小久保 謙一(北里大学 医療衛生学部/日本血液浄化技術学会 国際委員会)
ICP-4「国際学会で発表してみても①EDTA編」
矢部広樹(聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 理学療法学科)
ICP-5「国際学会(ヨーロッパ人工臓器学会)で発表してみても」
栗原佳孝(北里大学大学院 医療系研究科)
ICP-6「国際学会での発表促進を目指した国際委員会の取り組み」
小林こす恵(一般社団法人日本血液浄化技術学会 国際委員会)
ICP-7「英語論文作成支援プログラムについて」
齋藤 慎(公立富岡総合病院 臨床工学科)

●災害対策委員会企画：DCP

4月17日(土)16:00～17:30(第5会場)
透析室BCPを考えた災害対策マニュアルの作成について
司会：森上辰哉(五仁会 元町HDクリニック)
横山敏幸(医療法人社団守成会 広瀬病院)

DCP-1「はじめよう、透析室でのBCPの作成」
秋山勝俊(多賀城腎・泌尿器クリニック/日本血液浄化技術学会 災害対策委員会)
DCP-2「フローシートを活用した透析室BCPの考え方! ～ひろがれ・つながれ災害対策マニュアルの輪～」
岡本裕美(東邦大学医療センター大橋病院 臨床工学科/日本血液浄化技術学会 災害対策委員会)
DCP-3「BCPのessenceに基づいた「透析室BCPを考えた災害対策マニュアル」の作成」
守澤隆仁(医療法人あけぼの会 花園病院 透析センター/一般社団法人 日本血液浄化技術学会 災害対策委員会)

DCP-4「受援～適切な支援を受ける為に～」
中村 寛(医療法人社団 江東病院)

●学術委員会企画：SCP

4月18日(日)8:30～10:00(第3会場)
研究活動を活性化するには何が必要か?!
司会：村上 淳(東京女子医科大学 臨床工学科 血液浄化療法科)
小久保謙一(北里大学 医療衛生学部)

SCP-1「研究する上で大切なこと」
酒井清孝(早稲田大学 名誉教授)
SCP-2「臨床と研究をつなぐためには?(今だから必要な事)」
小川智也(埼玉医科大学総合医療センター 腎・高血圧内科、血液浄化センター)
SCP-3「臨床研究関連法令を踏まえた研究立案」
宮川浩之(日本赤十字社医療センター 臨床工学技術課)
SCP-4「研究活動活性化にむけた学術委員会の取り組み」
小久保謙一(日本血液浄化技術学会 学術委員会)

●ベージックセミナー1

4月17日(土)16:00～16:30(第2会場)
司会：濱田あすか(医療法人尚腎会 高知高須病院 臨床工学科)

BS-1「透析患者の栄養評価～たんぱく質・エネルギー栄養障害を中心に～」
朝倉洋平(特定医療法人 衆済会 増子記念病院 臨床栄養課)

●ベージックセミナー2

4月17日(土)10:30～11:00(第3会場)
司会：若山功治(わかやま透析クリニック中野南台)

BS-2「適正な透析患者の血圧コントロール」
青木弘之(医療法人財団 百葉の会 上野透析クリニック)

●ベージックセミナー3

4月17日(土)9:00～9:30(第4会場)
司会：本田和美(医療法人信英会 越谷大袋クリニック)

BS-3「透析液清浄化に必要なシステムと管理方法～事例から学ぶ清浄化管理～」
小野信行(社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学科)

●ベージックセミナー4

4月17日(土)16:30～17:00(第4会場)
司会：岡村龍也(社会医療法人 白光会 白石病院)

BS-4「透析患者のDWの設定方法」
岡澤圭祐(東京女子医科大学 臨床工学科)

●ベージックセミナー5

4月17日(土)12:10～12:40(第6会場)
司会：小野淳一(川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科)

BS-5「透析患者の下肢末梢循環の評価と管理」
長尾尋智(医療法人知邑舎 メディカルサテライト岩倉)

●ベージックセミナー6

4月18日(日)13:30～14:00(第2会場)
司会：堀内勇人(国立研究開発法人 国立成育医療研究センター)

BS-6「知っていますか?研究倫理」
五条敏和(医療法人社団天成会 天野医院)

●ベージックセミナー7

4月18日(日)14:50～15:20(第2会場)
司会：佐々木裕介(埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学科)

BS-7「学会発表や論文執筆に必要な統計(学)」
宮田賢宏(帝京大学 福岡医療技術学部)

●ベージックセミナー8

4月18日(日)13:30～14:00(第4会場)
司会：金山由紀(埼玉医科大学総合医療センター 臨床工学科)

BS-8「もっと早く知っておきたかった心電図の読み方」
松崎尚康(広島大学病院 診療支援部 臨床工学部門)

●ベージックセミナー9

4月18日(日)11:00～11:30(第5会場)
司会：浦辺俊一郎(医療法人倉田会 えいじんクリニック)
BS-9「透析室の感染対策～立場や見方によって違う?感染のとりえ方～」
谷口弘美(特定医療法人財団公園会 東葛クリニック 病院)

※2021年3月8日現在
最新情報は学術集会ホームページでご確認ください。

1日目 4月17日

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
Zoom 第1会場	9:00～10:00 IT委員会企画(ITP) サイバーセキュリティ× ビッグデータ×AI ～未来を見据える～ 司会：大木 剛、守田 憲崇 演者：川崎 寿浩、石田 幸広 内山 巧、金井 孝三 肥田 泰幸		10:30～11:30 特別講演 1 生体内輸送現象と生体 機能の模倣が導くもの とは 司会：真下 泰 演者：山下 明泰	12:00～13:00 大会長招聘講演 1 広島への酒造り 司会：宮本 照彦 演者：山岡 洋		13:40～14:40 教育講演 1 透析に関わる 医療経済と診療報酬 司会：村上 淳 演者：山川 智之		15:30～17:30 シンポジウム 1 VA 関連手術・治療における医療スタッフの役割 ～医療スタッフの業務拡大を目指して～ 司会：人見 泰正、小川 智也 演者：廣谷 紗千子、原 正彦、岩下 康史 千葉 康雄、波達 弘一		
Zoom 第2会場	9:00～11:00 シンポジウム 2 Inter-Professional Work ～透析患者への多角的アプローチ～ 司会：川岡 孝一郎、坂上 貴光 演者：西澤 敬子、安部 貴之、矢部 広樹 北島 幸枝、高柳 麻紀		11:30～12:30 企業共催セミナー L1 新規クリニック開設の経験 ～ニプロ社製透析装置導 入経験と今後の展望～ 司会：松岡 智平 演者：吉田 功樹 共催：ニプロ株式会社		13:30～15:00 ワークショップ 1 多職種が取り組む透析運動療法 ～現状と今後の展望～ 司会：鈴木 一祐、柴田 昌典 演者：山口 智也、佐野 可奈、森山 善文 佐藤 みのり、黒田 沙織		16:00～16:30 ベーシック セミナー 1 栄養管理 司会：眞田 あすか 演者：朝倉 洋平			17:30～ BPA 表彰式 (予定)
Zoom 第3会場	9:00～10:00 Best Presentation Award (BPA) 座長：深澤 暲也 柴田 昌典		10:30～11:00 ベーシック セミナー 2 血圧コント ロール 司会：若山 功治 演者：青木 弘之	12:00～13:00 企業共催セミナー L2 透析医療の高齢化を 考える 司会：川合 徹 演者：小川 智也 共催：協和ケリン株式会社		13:40～15:10 大会長特別企画 学会の国際化推進を考える！ 司会：安藤 勝信、小久保 謙一 演者：吉岡 淳、大塚 勝二 長沼 俊秀、山家 敏彦		16:00～17:30 国際委員会企画(ICP) 会員の国際化を目指す国際委員会の取り組み 司会：山本 裕子、宮本 照彦 演者：黒田 沙織、佐藤 幸博、小久保 謙一 矢部 広樹、栗原 佳孝、小林 こず恵 齋藤 慎		
Zoom 第4会場	9:00～9:30 ベーシック セミナー 3 透析液清浄化 司会：本田 和夫 演者：小野 信行		10:30～12:00 パネルディスカッション 1 急性血液浄化：各施設における ヘモフィルターの使い分け 司会：廣橋 伸之、峠松 佑輔 演者：塚本 功、相馬 泉 山香 修、道越 淳一		12:30～13:30 企業共催セミナー L3 リアルタイムで分かる 再循環率と透析量 司会：森上 辰哉 演者：福村 宏 共催：日機装株式会社		14:30～16:00 企業コラボセッション 各社が考える透析装置に備え付けるべき 機器と危機管理 司会：深澤 暲由美、松岡 智平 演者：水井 翔、伴 拓弥 村上 智也、野村 光男		16:30～17:00 ベーシック セミナー 4 DWT 設定 司会：岡村 龍也 演者：岡澤 圭祐	
Zoom 第5会場	8:55 開 会 式	10:00～11:30 日本血液浄化技術学会-台湾透析 技術学会 合同企画 日本と台湾の血液浄化技術の未来に向けて Towards future collaboration in blood purification technology between Japan and Taiwan 司会：金 静儀、陳 莉薇 演者：趙 哲 連棟、小久保 謙一		12:00～13:00 企業共催セミナー L4 透析アミロイド症の 予防とその対策 司会：正木 崇生 演者：倉賀野 隆裕 共催：扶桑薬品工業株式会社		14:00～15:00 医療安全委員会企画(MSP) 医療安全対策の 各方面の取組 司会：小野 信行、芝田 正道 演者：金子 恵美子、鮎澤 純子		16:00～17:30 災害対策委員会企画(DCP) 透析室 BCP を考えた災害対策マニュアルの 作成について 司会：森上 辰哉、横山 敏幸 演者：秋山 勝俊、岡本 裕美 守澤 隆仁、中村 寛		
Zoom 第6会場	9:00～9:50 一般演題 1 VA ① 座長：人見 泰正 藤谷 晃		10:40～11:30 一般演題 2 災害対策 ① 座長：氏家 達一 松田 卓也	12:10～12:40 ベーシック セミナー 5 末梢循環評価・ フットケア 司会：小野 淳一 演者：長尾 尊智	13:20～14:10 一般演題 3 災害対策 ② 座長：中村 寛 西村 典史		15:00～15:50 一般演題 4 VA ② 座長：南 伸治 豊田 昌光		16:40～17:30 一般演題 5 治療条件・設定 座長：森宮 悠司 森 拓人	
Zoom 第7会場		9:50～10:30 一般演題 6 HDF & IHDF ① 座長：神戸 幸司 北原 大		11:30～12:20 一般演題 7 アフレスシ 座長：江間 信吾 藤井 彰		14:10～15:00 一般演題 8 HDF & IHDF ② 座長：星野 武俊 長岡 高広		15:50～16:40 一般演題 9 栄 養 座長：佐野 可奈 輪内 敬三		
Zoom 第8会場	9:00～10:00 一般演題 10 性能評価 ① 座長：中井 歩 仙頭 正人		11:10～11:50 英語演題 1 座長：前田 家徳 松原 弘和		13:20～14:10 英語演題 2 座長：張 同輝 浦辺 俊一郎		15:00～15:50 一般演題 11 災害・医療安全 座長：小俣 利幸 中下 清文		16:40～17:30 一般演題 12 教育・連携・情報共有 座長：荒川 昌洋 星子 清貴	

2日目 4月18日

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
Zoom 第1会場	8:30～10:00 ワークショップ 2 バスキュラーアクセスにおける 手法と管理の標準化 司会：川原田 貴士、松田 政二 演者：北村 健太郎、橋澤 麻美 川上 崇志、人見 泰正		11:00～12:00 教育講演 2 透析効率の適正評価法を考える 司会：山下 芳久 演者：村上 淳		12:30～13:30 企業共催セミナー L5 透析患者における腎性貧血と その対応 ～低栄養・消耗を認 める高齢患者への対応 司会：友 雅司 演者：花房 規男 共催：中外製薬株式会社		14:20～15:50 ワークショップ 3 オンライン HDF、IHDF の 条件設定を考察する 司会：橋村 友隆、菅沼 信也 演者：常喜 信彦、大澤 貞利 江口 圭	
Zoom 第2会場	8:30～9:10 一般演題 13 海 外 座長：山本 裕子 高橋 麻央	10:00～11:00 特別講演 2 血液浄化療法が目指すべき未来 ～技術の探求と進化～ 司会：山家 敏彦 演者：川西 秀樹		12:00～13:00 企業共催セミナー L6 透析患者の心疾患を再考する 司会：岡田 一義 演者：常喜 信彦 共催：小野薬品工業株式会社	13:30～14:00 ベーシック セミナー 6 研究倫理 司会：堀内 勇人 演者：五条 敏和		14:50～15:20 ベーシック セミナー 7 研究統計 司会：佐々木 裕介 演者：宮田 賢宏	16:00 閉 会 式
Zoom 第3会場	8:30～10:00 学術委員会企画(SCP) 研究活動を活性化するには何が必要か？ 司会：村上 淳、小久保 謙一 演者：酒井 清孝、小川 智也 宮川 浩之、小久保 謙一		11:00～12:00 特別企画 透析と新型コロナウイルス感染症の実情 司会：小俣 利幸 演者：竜崎 崇和		12:30～13:30 企業共催セミナー L7 HDF 療法を活用した患者 QOL 向上への治療戦略 ～かゆみをはじめ とする症状改善と栄養管理の考え方～ 司会：森行 みさき 演者：高橋 直子 共催：株式会社ジェイ・エム・エス 旭化成メディカル株式会社	14:00～16:00 パネルディスカッション 2 腎代替療法の選択肢と Shared Decision Making 司会：川合 徹、宮川 浩之 演者：内田 明子、高橋 俊介、井手 健太郎 前田 家徳、森宮 悠司、道脇 宏行		
Zoom 第4会場	8:30～9:30 一般演題 14 急性血液浄化・CART 座長：小島 萌 西江 和夫	10:00～11:00 大会長招聘講演 2 自ら積極的に行動する力を 育むボトムアップ理論 司会：宮本 照彦 演者：堀 喜美夫		12:00～13:00 企業共催セミナー L8 透析患者のポリファーマシーに ついて考える ～CKD-MBD 薬を中心に～ 司会：土井 盛博 演者：川合 徹 共催：バイエル薬品株式会社	13:30～14:00 ベーシック セミナー 8 透析患者の 心電図の読み方 司会：金山 由紀 演者：松崎 尚康		14:50～15:40 一般演題 15 その他 ① 座長：橋本 光史 小野 祐明	
Zoom 第5会場	8:30～10:30 シンポジウム 3 日本腎不全看護学会 ジョイントセッション 透析の見え方に係る問題への対応を考える 司会：水内 恵子、長尾 尊智 演者：倉賀野 隆裕、岡田 一義 船越 哲、阿部 利恵		11:00～11:30 ベーシック セミナー 9 感染対策 司会：浦辺 俊一郎 演者：谷口 弘美	12:00～12:30 企業プレゼン テーション 1 演者：水井 翔 共催：ニプロ株式会社	13:10～13:40 企業プレゼン テーション 2 演者：浅野 信一 共催：ニプロ株式会社	14:30～16:00 ワークショップ 4 各治療法におけるアフレスシスの 役割と施行条件 司会：花房 規男、岩本 ひとみ 演者：鶴田 友加里、大久保 淳 松崎 圭祐、時任 義臣		
Zoom 第6会場	8:30～9:10 一般演題 16 透析運動療法・他 座長：五十嵐 洋行 平 ひとみ	10:00～10:30 企業共催 セミナー S1 臨床工技士が知って おきたいCKD-MBD における最近の話題 司会：高橋 直子 演者：土井 盛博 共催：キッセイ薬品工業 株式会社	11:20～12:10 一般演題 17 HDF & IHDF ③ 座長：近藤 隆司 岩田 康伸		13:30～14:10 一般演題 18 VA ③ 座長：佐久間 宏治 重長 貴祐	15:00～15:50 一般演題 19 VA ④ 座長：安部 貴之 新宅 典典		
Zoom 第7会場		9:00～10:00 一般演題 20 モニタリング ① 座長：岡根 広介 栗原 大典	10:50～11:50 一般演題 21 モニタリング ② 座長：岡本 裕美 木村 和弥		13:20～14:20 一般演題 22 透析液 ①／性能評価 ② 座長：加藤 泰之 上野 幸司		15:10～15:50 一般演題 23 その他② 座長：栗原 佳孝 伊豆元 勇樹	
Zoom 第8会場	8:30～9:20 英語演題 3 座長：長沼 俊秀 齋藤 慎	10:10～10:50 英語演題 4 座長：アレスシア マリア トジビ 徳田 静哉		11:50～12:50 企業共催セミナー S2 これからの CART 治療を考える 司会：山家 敏彦 演者：鈴木 祥仁、福原 正史 共催：株式会社カネカメディックス	13:30～14:10 英語演題 5 座長：小久保 謙一 栗原 佳孝		15:00～16:00 一般演題 24 洗浄消毒・排水／透析液 ② 座長：横口 誠一 白石 理	

地方研究会開催情報 (2021年3月・4月)

(2021年2月15日現在 参考：日本透析医学会ホームページ)
内容が変更となる場合があります。詳しくは連絡先にご確認ください。

【近畿地区】

■第94回 大阪透析研究会

会 長：武本佳昭(大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学 病院教授)
代表幹事：坂口美佳(近畿大学医学部腎臓内科)
開催日：2021年3月7日(日)
開催時間：8:30～(予定)
開催方法：ウェブ・オンデマンド開催
連絡先：近畿大学医学部腎臓内科
〒589-8511 大阪狭山市大野東377-2
TEL：072-366-0221 FAX：072-366-0206

【中国地区】

■第68回 山陰透析懇話会

担当幹事：田中保則(博愛病院循環器内科)
代表世話人：武中 篤(鳥取大学医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野 教授)
開催日：2021年3月28日(日)
開催時間：時間未定
開催方法：ハイブリッド(鳥取大学医学部附属病院とWEB)
連絡先：鳥取大学医学部器官制御外科学講座 腎泌尿器学分野 本田正史
〒683-8503 米子市西町86
TEL：0859-38-6607 FAX：0859-38-6609